



ケヤキ沢

上

一九八五年九月二四日

入谷前は、菱川右俣・左俣として調査対象としていたのだが、沢にかかると「ケヤキ沢橋」という橋歴板があったので、菱川右俣はケヤキ沢とよばれていることを知る。ケヤキ沢を行ってみる。行けども

行けどもヤブ沢。なにもない。沢の流れも細くなった所で引き返し、再度菱川の遡行にかかる。

(記)

「タイム」ケヤキ沢出合(一四:二〇)

↓終了(一四:四〇)

山で出会った動物たち②

ニホンザル

地元の人の話では、摺上川流域に三群三百頭くらいが生息しているというが、実際にはもっと少ないと思う。▼群れを成して移動し、人家のすぐそばにまで出沒する。本書で取り上げた摺上川流域ほぼ全域を行動圏としているようだ。▼最近、全国各地で農産物の被害が問題となっているが、摺上川流域でもクワや果樹などの被害が多発している。私も桑畑の被害調査を実施したことがあるが、冬芽を一粒ずつ摘んで食べているかと思えば、樹皮を見事とってよいほどきれいにむいて食べていた。